

6-8.
 山地 治, 2000. 平田先生の標本箱. 自然史博物館だより, 倉敷, (38): 2-3.
 山地 治・奥島雄一編, 2008. 平田信夫カミキリムシコレクション. 倉敷市立自然史博物館収蔵資料目録, (13):

1-312, 1pl.
 吉原一美, 1999. ゴウムシ採集の思い出. 自然史博物館だより, 倉敷, (35): 2-3.

(2015年4月10日受領, 2015年5月24日受理)

【短報】大阪府におけるオオアリガタハネカクシ (*Megalopaederus* 属) について

オオアリガタハネカクシ属 *Megalopaederus* は、アリガタハネカクシ亜科のなかでは大型の種を含み、日本では、四国をのぞき、4種類が知られている。低山地から比較的高山地までの葉上や樹上に広く見付かるがそれぞれ分布域を異にしており (Sharp, 1874; Cameron, 1930; Scheerpeltz, 1957; Watanabe, 1986), 大阪府下では従来南部の岩湧山や金剛山などを中心にオオアリガタハネカクシ *M. poweri* (Sharp) が分布していることが判明していた。しかし中・北部地域からの報告は全くなく、この地域からの発見に関心がもたれていた。このたび大阪市立自然史博物館の宝塚昆虫館からの移管標

本に、戦前の箕面産の標本 (図 1, 2) があり、それを検する機会があった。雄交尾器を検鏡した結果、本種は京都北山が基産地で新潟県西部から九州まで広く分布するワダオオアリガタハネカクシ *Megalopaederus wadai* Scheerpeltz, 1957 (渡辺・馬場, 1979) であったので報告する。

1♂, Pk. Minomo (箕面公園) near Osaka, 27. May, 1932.

なお、最近京都北山では、本種と前述のオオアリガタハネカクシとの混生が示唆されており、今後地史との関連からもこれらの種毎の精緻な分布域の探索、検討が望まれる。最後になるが、この標本を検する機会を与えていただいた宝塚昆虫館からの移管標本整理に尽力された水野弘造・大平廣士両氏と大阪市立自然史博物館の初宿成彦氏に感謝する。

引用文献

- Cameron, M., 1930. New species of Staphylinidae from Japan. Ent. month. Mag., 66: 205-208.
 Scheerpeltz, O., 1957. Vorläufige Diagonosen einiger neuen paläarktischen Arten und Formen der Gattung *Paederidus* Muls. Rey, *Paederus* Fabr. (mit den neuen Untergattung *Eopaederus*, *Paederus* s. str. nov., *Heteropaederus*, *Dioncopaederus* und *Oedopaederus*), *Parameropaederus* nov. gen., *Lobopaederus* nov. gen. und *Megalopaederus* nov. gen). Mem. Mus. Stor. Nat. Venez. Trident., Trento, 11 (for 1966-'57): 447-475.
 Sharp, D., 1874. The Staphylinidae of Japa. Trans. Ent. Soc. London, 1874: 1-103.
 Watanabe, Y., 1986. A revisional study of the Japanese species of the genus *Megalopaederus* (Coleoptera, Staphylinidae). Ent. Pap. Pres. Kurosawa, Tokyo: 159-169.
 渡辺泰明・馬場金太郎. 1979. 新潟県内におけるアリガタハネカクシ類の分布. 「新潟県の昆虫」(越佐昆虫同好会会報 50号慶祝論文集): 65-68.

(伊藤建夫 614-8371 八幡市男山雄徳 7, E12-102)

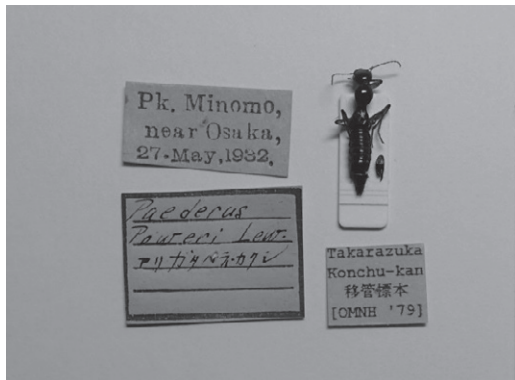


図 1. ワダオオアリガタハネカクシの標本とラベル (箕面産)。

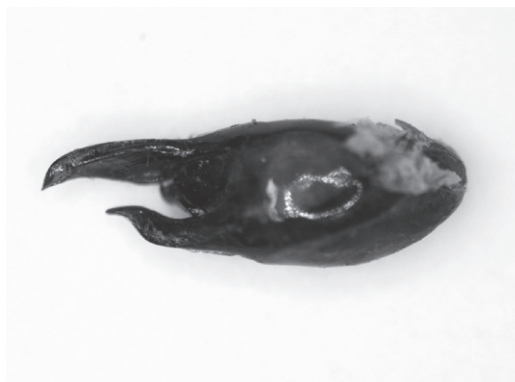


図 2. ワダオオアリガタハネカクシの雄交尾器。